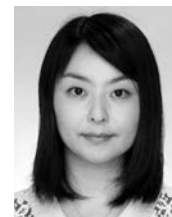


# 子育て弁理士奮闘中

会員 竹本 美奈



## 要 約

弁理士受験中に第1子妊娠・出産を経験し、合格後、4年間のアメリカ生活の間に第2子を妊娠・出産、帰国後弁理士として職場復帰をいたしました。主に、妊娠・出産・子育てと仕事との両立やアメリカでの生活等の体験談を書かせていただきます。

## 目次

1. 自己紹介
2. 弁理士受験と1人目妊娠、出産
3. アメリカ生活と2人目妊娠、出産
4. 帰国後、仕事復帰
5. 子育てと発明
6. さいごに

## 1. 自己紹介

私は、平成22年に弁理士登録をし、現在、特許の中間処理、商標、を主な業務として特許事務所に勤務しています。

また、現在2児の母で、6歳の長女と1歳の次女がいるため、時短勤務をしています。

## 2. 弁理士受験と1人目妊娠、出産

思い返すと私の弁理士という仕事において、出産育児は常につきものでした。

1人目を妊娠した当時、ちょうど弁理士試験の受験勉強真っ只中でした。妊娠中は体調が悪いことが多く、ツワリも想像以上に大変でした。さらに私を一番悩ませたのが、妊娠ボケとも言われる物忘れ、目が見えないといった症状でした。ひっかけ問題の多い短答試験では、注意しているのにも関わらず、ことごとく引っかかり、問題で「審査官」を「審判官」と読み間違えた上に、解答で「審判官」を「審査官」と読み間違えるという、何が何だかわからない状態が頻繁に起こりました。「こんなのひっかかるのはウツカリしている人でしょ。」と言っていた妊娠前に戻りたいと何度も思いました。そんなこともあり何度も受験を諦めかけました。

しかし、全く勉強できずに寝たきりの日以外はツワリと格闘しながら勉強をしました。「胎教が特許法でつまらなくてゴメンね。」「ラマーズ法の勉強でなく意匠法の勉強でゴメンね。」と謝りながら勉強しました。申し訳程度に部屋でクラシックを流しながら、自分は耳栓をして過去問を解いたりしました。3時間半という長丁場、お腹がカチコチになり赤ちゃんに謝りながら腹痛に耐え短答試験を受け、すでにお腹が大きくなって論文試験では特別措置という名のただの最前列妊婦席で受験をしました。

論文試験終了時間10分前になると赤ちゃんも焦りを感じるのか、試験に集中できないほどの尋常ではない激しい胎動が起こります。そして、「ドスン！ドスン！」というリアルな音が聞こえてきます。リアルな音？ん？ふと隣を見ると、隣の妊婦さんが必死の形相でお腹を何度も叩いているのではないですか。「わかるわかる！その気持ち！」と共感しながら「でも叩いて大丈夫？」と冷静になりながら無事試験を終え、見事合格することができました。

産後は、育児休暇を取得しつつも研修の毎日でした。長女は夜泣きがひどく、立って抱っこをしないと寝ない子だったので、それはそれは悲惨な毎日でした。1年半の育児休暇を取得後、職場復帰をするも、保育園に預けて5日目でお友達から風邪菌を頂戴し、見事に、高熱、痙攣、夜間病院たらい回しの上、4日間入院。復帰をしてすぐでしたので、職場の皆様には大きな迷惑を掛けずに済みましたが、子供がいると計画通りには行かないものだなあと痛感しました。

また、夜泣きはさらに続き、3日徹夜はざらだったので、これでは仕事にならないと、たまに実家に帰っ

て睡眠時間を確保したりしていました。

### 3. アメリカ生活と2人目妊娠、出産

育児休暇から復帰して半年後、主人の3年間のアメリカ駐在が突然決まりました。弁理士としてこれからという時だったので迷いもほんの少しはありましたが、私の勤務する事務所は国際特許事務所であり、ほとんどの仕事で英語を使用するため、これは良い機会だと思い、家族で一緒についていくことにしました。

場所は西海岸のサンフランシスコ近郊で、初めの半年は新生活の準備やら家族のケア、情報収集等であっという間に過ぎ、やっと海外生活に慣れてきてこれから何をしようかというときに、今度は主人のワシントンD.C.への異動が決まりました。またまた慌ただしく引越の準備をし、東海岸にある首都ワシントンD.C.へ。改めて新生活の立ち上げからのスタートです。

ワシントンD.C.では沢山のワーキングマザーに出会いました。彼女らのほとんどは共働きで、何人かのベビーシッターを雇い、学校や保育園と併用させて家庭と仕事の両立を図っているようでした。アメリカに来る前は、ただ漠然とアメリカは共働きの制度がしっかりしていて、専業主婦など皆無で夫婦同等、同じだけ働き同じだけ家事をするものだと思っていましたが、私の知る範囲では、確かに日本より夫婦共に家事育児を分担してはいるものの、育児に関しては女性の方にやや負担がかかっている印象を得ました。ただ、アメリカのお父さんは本当に家事育児に協力的で、保育園や学校の送り迎え、遠足、ボランティア、各種行事には積極的に参加をしており、習い事への送り迎え、子供の誕生日会等の学校外の用事でも平日休日問わず、お父さんが活躍しているのを沢山見かけました。ただ、先ほど申し上げたように、全体的に見るとややお母さんの方が多く、家庭や人種にもより、お母さんしか活躍していない家庭もありました。我が家の隣に住んでいた家族は、お父さんが家で仕事をしていて、お母さんは休日に子供と関わるというスタンスで、送り迎えはベビーシッターを3人活用していたようです。一方、専業主婦の多くは、他国から移住してきたばかりで英語を勉強中の主婦であったり、私と同じ駐在による帯同で来た所謂駐在妻であり、例外として、子供はすでに独立し、普段はボランティアをしている裕福で仕事をする必要のない主婦がいるような印象を受けました。

このように列挙してみると、イクメンが増えた増えたといっている日本において、果たして本当に真のイクメンが存在するのだろうかと甚だ疑問にも感じますが、未だ過渡期ととらえ、未来を信じたいと思っております。

ワシントンD.C.は、さすが首都というだけあって、働くお母さん若しくはお父さんは政府関係者や弁護士が多かったです。また、子供の数も2人~5人と多く、バリバリと働きキャリアを構築しながらも、沢山の子供を育てていて皆さんパワフルだなあと感心致しました。余談ですが、こちらの女性は、普段はスッピン・Tシャツ・ジーパン・ビーチサンダル姿ですが、職場に行くときスーツにピカピカのヒールを履き、バリバリのキャリアウーマンへと変身するようです。バリバリのキャリアウーマンヒールからオフィス用ナースサンダルに履き替える日本とは全く逆ですね。

育児休暇についても、日本とは違い、お父さんでも長い期間簡単に休暇が取れるようです。ただ、産休については、3ヶ月ほどしかないようで産前産後はとても辛いという話も聞きました。ちなみに出産についても、普通分娩の場合1泊したら家に帰されるし、帝王切開でも3日ほどしか入院させてくれません。普通分娩で5日、帝王切開で10日ほど入院する日本とは大違いです。ちなみに私は長女をアメリカで帝王切開で出産し、次女は帰国2ヶ月前に普通分娩で出産したので、どちらも経験済みですが、帝王切開3日で退院は、「ハラキリ」しておいて2日目に歩けはさすがに短すぎるのではと思いました。退院の日は、傷口が開いたら怖いなあと思いつけながら老人のように歩いて帰りました。

このような出産制度はありえないと文句をいうアメリカ人もいれば、こんな辛い状態でもキャリアに穴を開けたくないと退院翌日から仕事復帰したりする女性もいるようです。

こちらにいる間は育児に妊娠出産にと大忙しで、特許のとの字も忘れる勢いでしたが、せっかくワシントンに滞在しているのだからと、何度かUSPTOにも足を運びました。

外は大きな広場になっており、三角形が合わさった多面体のオブジェがあり、中はガラス張りの吹き抜けで、とても素敵なお建物です。1階にはPatentに関するちょっとした博物館のようなものとお土産屋があります。頭を柔らかくする類いの玩具や、ここでしか売

ていない USPTO の文房具、赤ちゃん用品などが売られているので、ワシントン D.C. にお越しの際には是非足を運んでみてください。

#### 4. 帰国後、仕事復帰

帰国後、今年の4月から次女を保育園に預けられるようになったので、仕事に復帰しました。保育園の待機児童が多い中、私の住んでいる地域では沢山の保育園が新設され始めていたため、すんなり預け先が決まりました。余談ですが、アメリカでは、東海岸でも西海岸でも、人気の保育園は妊娠が確定したときから申し込みを開始しないと産後に預けられないほど待機児童を沢山抱えていました。我が家もどちらに住んでいるときも、近場の保育園は空きのない状態で、数ヶ月～半年は待機させられた上、結局高速道路を使って車で10分もかかる場所に預けに行っていました。

仕事に復帰して間もなくは、久しぶりの長時間デスクワークに仕事内容にと大変で、また子供達も新しい生活環境に新しい学校、初めての保育園というわけで家族中がてんやわんやでした。ライフスタイルも大きく変わり、家事育児分担や毎日のスケジュールを立てローテーション化するのに2ヶ月ほどかかりました。

朝早くに起き、お弁当作り、上の子を送り出し、下の子の準備をしつつ部屋の掃除、帰ってきてからは掃除機をかける暇がないので朝に全部屋掃除機をかけ、下の子を保育園に送る。仕事を終え、すぐさま上の子をお迎えに行き、そのまま習い事に送迎、その間に買い物や下の子を迎えに行き、上の子の習い事のお迎え、帰宅後、料理をしつつお風呂掃除をしつつ離乳食を食べさせ、なおかつ上の子の宿題を見る。上の子にご飯を食べさせ、2人をお風呂に入れ、寝かしつける。この辺りで主人が帰宅。その後洗濯（主人担当）と食器洗い（主人担当）、片付け、翌日の準備をする。当初、次女の夜泣きもあってか、このローテーションがうまく構築できず、家族皆、立てないほど心身共にボロボロになりかけました。幸い、1人目で慣れたのか、アメリカ人のお父さんに感化されたのかはわかりませんが、主人が協力的になったため、今では上手く回っております。

また、クライアントとの打ち合わせや研修セミナー等で帰宅が夜遅くなる日は、私の母親に来てもらったり、少々長めの主人の海外出張が入った際には、実家にお世話になったりしています。実家に頼れることは

本当にありがたいことです。

#### 5. 子育てと発明

私が特許という特殊な分野の仕事を知ったのは、「東京特許許可局」という早口言葉でしょうか、小さい頃は弁理士という仕事なんてなんのことやらさっぱりでした。発明？エジソンとか？？というくらいの知識しかありませんでした。しかし、弁理士として働いている今、早口言葉や伝記くらいの知識しか子供に与えないのはもったいないということで、小さい頃から子供に「特許」について「発明して権利を得るとお金持ちになれるよ」程度の知識はコツコツ与えています。するとどうでしょう！？長女が4歳になったときに急にこんなことを言い出しました。

長女「ママ、私はミツバチが大嫌い。ブンブンという、刺してくるから。ミツバチなんてこの世から全部いなくなればいいのに。」

そこで、「でも、ミツバチがこの世からいなくなると、受粉できなくなって、植物が育たなくなって、やがて人間は絶滅するらしいよ。」というのと、

長女「やった！それはよかった！」というのではないですか。

「何がいいの？」と続けて聞いてみたところ、

長女「だったら、ミツバチに代わる虫の機械か、花粉を見つけてくっつけて飛ぶ装置を私が発明して、全世界で権利を取って売り出したら、大金持ちになれる！！」と。

その後も、「1個1万円で100人に売るか、1個1000円でもっと沢山のの人に売るか、はたまた何か賞をとって顧客を集めるか」を真剣に考えていました。

お金儲けの話は置いておいて、幼稚園時代から発明と権利化について考えてくれることは親心に嬉しいなあと思いました。

小学1年生になった今、次なる目標は夏休みの自由研究でしょうか、何か発明させてみようかと企んでおります。

#### 6. さいごに

私の勤務している特許事務所は、妊娠・出産・子育てについてとても寛大で、大きな事務所でないにも関わらずいろいろと制度が整っていたのは、妊娠・出産をした方の前例があったおかげです。昔と違って、今は子育てに対する制度は整ってきているのかもしれま

せん。しかし、大きな会社ではなく、中規模・小規模の会社や事務所等は、制度が整っていないこともあるかと思えます。特許という特殊な職業柄、女性の数が少ないため、未だ妊娠・出産の前例がないところもあるでしょう。

特に、妊娠中は席に座っているだけでも辛かったりします。こっそりトイレで吐いたりもしています。男性にはわからない、誰にも相談できないと我慢している人もいらっしゃるでしょう。

受験時代は、受験生からは「どうしてこんな重要な時期に子供を作ったの?」、「妊娠した人はみんな諦めているよ。受験辞めたら?」と言われ、同じ女性からは「まだ勉強しているの?お腹の赤ちゃんにストレスになるよ。」、「受験は辞めて胎教しながらゆっくりしたら?」と心が萎えそうになる忠告を頂いたりもしました。

また、職場復帰しても、子供が頻繁に熱を出し、37.5度以上熱を出した子は保育園が預かってくれないため早退や欠勤が多くなってしまいます。正直、子供がいなかったときには、「どうしてそんなに熱を出すのだろう?」「なぜ早退する必要があるの?」と思っていました。しかし、37.5度以上の熱を出した子供を預から

ないということは、逆を言えば、37.5度いかない風邪をひいている子供は預かってくれるというわけです。そうすると、園内で風邪のうつし合いが起り何度も熱を出すことになるのです。

さらに、所謂ママ友からは「まだ小さいのに預けて働くの?長く預けたらかわいそう。」、「もう授乳していないの?」等言われたりもします。

妊娠中も産後も、どの立場での言い分も理解ができ、沢山の葛藤を抱えているのは、私だけではないはずです。実家が遠方で預けられない方や諸事情で誰にも頼れず悩んでいる方もいるでしょう。

もっと優遇されるべきだとは言わないまでも、文化や制度の違うアメリカを見習えとは思わないまでも、もっと改善の余地は多いにあると思います。

さいごに、これを読んで、男性の皆様に出産・育児に関し理解を深めて頂けたら、好ましくは、職場の制度が良い方に変わったら、また、女性の皆様を勇気付けられたらと切に願います。

以上

(原稿受領 2015. 6. 15)